

震災関連資料の収集について(詳細)

2011(平成23)年3月11日に東日本大震災が発生しました。その後の津波と福島第一原子力発電所事故により、福島県では未曾有の被害を受けています。

福島県では、その記憶と記録を広く収集し、皆さんの利用に供するとともに、永く後世に引き継いでいくため、「東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設」を双葉町に建設する予定です。その施設に収蔵する各種資料を収集しています。

1. 収集資料

東日本大震災に関する資料全般および震災前の地域を特徴づける資料

〈例〉

○実際のモノ

避難所や仮設住宅で使用したもの、津波で泥をかぶったり形が変わったりしたもの

○紙類

- ・日記や手記、体験記録、文集、記録集、写真集、調査報告書、論文集、記録誌、案内チラシやポスターなど
- ・救助、復旧活動等の計画書、活動記録、報告書、避難所だより、壁新聞など
- ・相談会、セミナー、イベントなどの配布資料やチラシなど
- ・各種の活動記録(ボランティア、団体、避難所、学校、企業)、フリーペーパー、ミニコミ誌など
- ・学校だより(同窓会・PTA)、会報、広報誌など

○写真

- ・被害状況、救援活動の状況
- ・避難所や仮設住宅での暮らし
- ・ボランティア活動、イベント等
- ・定点観測写真など



○映像・音声

- ・録画等映像資料など
- ・被災した地域や建造物など映像などの映像
- ・復旧、復興の様子
- ・儀式での式辞、あいさつ、祝辞、答辞、誓いのことば
- ・被災地激励の映像や音声など

2. 寄贈いただく部数

1部の寄贈を原則としますが、書籍やパンフ・チラシ等の場合、永い期間の保存を考慮し、可能であれば2部以上の寄贈をお願いいたします。

3. 寄贈の手続き

できる限り受け取りに参ります。なお、ご寄贈いただく際は、「東日本大震災関連資料寄贈申込書」をいただき、「一時預かり書」を発行いたします。また、福島県への移管が終了した時点で、「受領書」を発行いたします。詳しくは、以下4の問い合わせ先にお問い合わせください。

4. 問い合わせ先

〒960-1296 福島市金谷川1番地

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

(福島県から委託を受けて資料収集に当たっています。)

TEL: 024-504-2865 FAX: 024-504-2865

e-mail: fure@adb.fukushima-u.ac.jp